

## <マニュアル訂正連絡票>

# ASP PC ファイルサーバ説明書 V28

[J2K0-5740-01G2]

2019年12月24日発行

修正箇所 (章節項) : 5.3.2.1 認証

### 旧記事

Web ブラウザから, “http://ASP のホスト名 (または IP アドレス) :901/” に接続すると, 図 5.4 の認証画面が表示されるので, ユーザ名とパスワードを入力する.

利用できるユーザ名は XSYSMNGR のみである.

なお, 認証画面には以下のメッセージが表示される.

### 新記事

Web ブラウザから, “http://ASP のホスト名 (または IP アドレス) :901/” に接続すると, 図 5.4 の認証画面が表示されるので, ユーザ名とパスワードを入力する.

利用できるユーザ名は XSYSMNGR のみで, パスワードは省略できない.

なお, 認証画面には以下のメッセージが表示される.

2017年12月26日発行

修正箇所 (章節項) : 5.3.2.3 サーバ環境の設定

### 旧記事

<< 略 >>

#### 作成時のアクセス権

PC ファイルサーバ上に, Windows がファイルまたはディレクトリを作成する際のアクセス権を設定する. 所有者, グループ, その他に対してそれぞれ, 読み込み, 書き込み, 実行を設定することができる.

本項目は, 「共有の設定」画面に表示される同名の項目の初期値として使用される.

規定値では, すべての権限がチェックされている.

#### オプション

「アーカイブ」属性, 「システム」属性, 「不可視」属性のサポートを, それぞれ設定する.

本項目は Windows のファイル属性と, 本システムのファイル権限との整合を行うためのものである.

本項目は, 「共有の設定」画面に表示される同名の項目の初期値として使用される.

<< 略 >>

#### 許可されるホスト

<< 略 >>

本項目は、PC ファイルサーバ全体のアクセス制限を行う場合に設定する。共有ごとに制限したい場合は、「共有の設定」画面の“許可されるホスト”、“許可されないホスト”項目で設定する。その場合、「サーバ環境の設定」画面の“許可されるホスト”、“許可されないホスト”項目では、アクセスを許可しておく必要がある。本項目でアクセスが禁止された Windows は、「共有の設定」画面でアクセスを許可しても、アクセスできない。

本項目は省略可能である。省略された場合、“許可されないホスト”で指定されていないすべてのホストのアクセスが許可される。

#### 許可されないホスト

<< 略 >>

本項目は、PC ファイルサーバ全体のアクセス制限を行う場合に設定する。共有ごとに制限したい場合は、「共有の設定」画面の“許可されるホスト”、“許可されないホスト”項目で設定する。その場合、「サーバ環境の設定」画面の“許可されるホスト”、“許可されないホスト”項目では、アクセスを許可しておく必要がある。本項目でアクセスが禁止された Windows は、「共有の設定」画面でアクセスを許可しても、アクセスできない。

本項目は省略可能である。“許可されるホスト”も省略された場合、すべてのホストのアクセスが許可される。

### 新 記 事

<< 略 >>

#### 作成時のアクセス権

PC ファイルサーバ上に、Windows がファイルまたはディレクトリを作成する際のアクセス権を設定する。所有者、グループ、その他に対してそれぞれ、読み込み、書き込み、実行を設定することができる。

本項目は、「共有の設定」画面で新しく共有を作成する際に表示される同名の項目の初期値として使用される。本項目の値を変更しても、作成済の共有の設定値には影響しない。

既定値では、すべての権限がチェックされている。

#### オプション

「アーカイブ」属性、「システム」属性、「不可視」属性のサポートを、それぞれ設定する。

本項目は Windows のファイル属性と、本システムのファイル権限との整合を行うためのものである。

本項目は、「共有の設定」画面で新しく共有を作成する際に表示される同名の項目の初期値として使用される。本項目の値を変更しても、作成済の共有の設定値には影響しない。

<< 略 >>

#### 許可されるホスト

<< 略 >>

本項目は、PC ファイルサーバ全体のアクセス制限を行う場合に設定する。共有ごとに制限したい場合は、「共有の設定」画面の“許可されるホスト”、“許可されないホスト”項目で設定する。その場合、「サーバ環境の設定」画面の“許可されるホスト”、“許可されないホスト”項目では、アクセスを許可しておく必要がある。本項目でアクセスが禁止された Windows は、「共有の設定」画面でアクセスを許可しても、アクセスできない。

本項目は、「共有の設定」画面で新しく共有を作成する際に表示される同名の項目の初期値として使用される。本項目の値を変更しても、作成済の共有の設定値には影響しない。

本項目は省略可能である。省略された場合，“許可されないホスト”で指定されていないすべてのホストのアクセスが許可される。

## 許可されないホスト

<< 略 >>

本項目は、PC ファイルサーバ全体のアクセス制限を行う場合に設定する。共有ごとに制限したい場合は、「共有の設定」画面の“許可されるホスト”，“許可されないホスト”項目で設定する。その場合、「サーバ環境の設定」画面の“許可されるホスト”，“許可されないホスト”項目では、アクセスを許可しておく必要がある。本項目でアクセスが禁止された Windows は、「共有の設定」画面でアクセスを許可しても、アクセスできない。

本項目は、「共有の設定」画面で新しく共有を作成する際に表示される同名の項目の初期値として使用される。本項目の値を変更しても、作成済の共有の設定値には影響しない。

本項目は省略可能である。“許可されるホスト”も省略された場合、すべてのホストのアクセスが許可される。

2017年4月26日発行

修正箇所（章節項）： 2.2.1 ファイル共有

### 旧記事

#### 2.2.1 ファイル共有

ASPの拡張多階層ライブラリを、クライアント PC のローカルディスクと同様に操作することを可能にするための機能である。

拡張多階層ライブラリの特定ディレクトリに「共有名」という名前をつけることにより、配下のファイルやディレクトリを複数クライアントから操作できるようになる。

クライアント PC からの接続方法としては、以下の 2 つがある。

- ・ネットワークドライブの割り当て
- ・ブラウジング

### 新記事

#### 2.2.1 ファイル共有

ASPの拡張多階層ライブラリを、クライアント PC のローカルディスクと同様に操作することを可能にするための機能である。

拡張多階層ライブラリの特定ディレクトリに「共有名」という名前をつけることにより、配下のファイルやディレクトリを複数クライアントから操作できるようになる。

クライアント PC からの接続方法としては、以下の 3 つがある。

- ・ネットワークドライブの割り当て
- ・ブラウジング
- ・NET USE コマンド

修正箇所（章節項）： 2.2.1 ファイル共有

### 旧記事

#### 2.2.1 ファイル共有

～省略～

## ネットワークドライブの割り当て

Windows のエクスプローラの[ツール]メニューから[ネットワークドライブの割り当て]を選択して行う。

Windows の特定ドライブ名に、PC ファイルサーバの「共有名」で公開しているディレクトリを割り当てする方法である。

## ブラウジング

Windows のデスクトップ上にある「マイネットワーク」、または「ネットワーク」より行う。

この方法を使用すると、利用者は使用可能な資源を一覧で参照して選択することが可能となる。

この際、PC ファイルサーバを識別するためのコンピュータ名は、ワークグループと呼ばれるコンピュータ名の集合の中に收容されている。

利用者はまずネットワーク全体の中から、このワークグループを選択する必要がある。

PC ファイルサーバをどのような名前のワークグループに参加させるかは、PC ファイルサーバの環境設定で行う。

## 新記事

### 2.2.1 ファイル共有

～省略～

## ネットワークドライブの割り当て

Windows のエクスプローラの[ツール]メニューから[ネットワークドライブの割り当て]を選択して行う。

Windows の特定ドライブ名に、PC ファイルサーバの「共有名」で公開しているディレクトリを割り当てする方法である。

## ブラウジング

Windows のデスクトップ上にある「マイネットワーク」、または「ネットワーク」より行う。

この方法を使用すると、利用者は使用可能な資源を一覧で参照して選択することが可能となる。

この際、PC ファイルサーバを識別するためのコンピュータ名は、ワークグループと呼ばれるコンピュータ名の集合の中に收容されている。

利用者はまずネットワーク全体の中から、このワークグループを選択する必要がある。

PC ファイルサーバをどのような名前のワークグループに参加させるかは、PC ファイルサーバの環境設定で行う。

## NET USE コマンド

Windows のコマンドプロンプト画面から、NET USE コマンドを使用してネットワークドライブの割り当てを行う。

その際、以下のように指定する必要がある。

NET USE ドライブラベル(x:や z:など)

¥¥PC ファイルサーバのコンピュータ名(または IP アドレス)¥共有名

パスワード

/USER:Windows のコンピュータ名¥ユーザ名

(Windows のコンピュータ名¥は省略可能)

2015年10月7日発行

修正箇所(章節項): 2.5 注意事項

## 旧記事

### ・ディスク容量不足の時の動作について

共有を作成した拡張多階層ライブラリの容量が不足している場合、以下の現象が発生する場合がある。

- ー 共有にファイルを移動した際、容量不足のメッセージが表示されて移動できないが、共有内に、移動しようとしたファイルと同名で 0KB のファイルが作成される。
- ー ファイルを上書きコピーする際、コピーするファイルのサイズがコピー先のファイルサイズよりも大きい場合、容量不足のメッセージが表示されてコピーできないが、コピー先のファイルが削除される。

### ・ディスク容量不足の時の動作について

共有を作成した拡張多階層ライブラリの容量、または格納可能エンティティ数が不足している場合、以下の現象が発生する場合があります。

- ー 共有にファイルを移動した際、容量不足のメッセージが表示されて移動できないが、共有内に、移動しようとしたファイルと同名で 0KB のファイルが作成される。
- ー ファイルを上書きコピーする際、コピーするファイルのサイズがコピー先のファイルサイズよりも大きい場合、容量不足のメッセージが表示されてコピーできないが、コピー先のファイルが削除される。
- ー 共有にファイルをコピー、または移動した際、Windows 側に「十分な空き領域がありません」が表示され、ASP 側にはおよそ 5 秒に 1 度程度の頻度で「\$5385 ライブラリの空き領域がなくなり資源が格納できない」が表示される。Windows 側のメッセージに対してキャンセル操作を行うと、ASP 側のメッセージも表示されなくなる。

2014 年 4 月 4 日発行

修正箇所 (章節項) : 「2.2.1 ファイル共有」の最後

### 2.2.1 ファイル共有

ASP の拡張多階層ライブラリを、Windows のローカルディスクと同様に操作することを可能にする機能である。

拡張多階層ライブラリに作成したディレクトリに、PC ファイルサーバで公開するための「共有名」をつけることにより、配下のファイルやディレクトリを複数の Windows から操作できるようになる。

Windows からの接続方法としては、以下の 2 つがある。

- ・ ネットワークドライブの割り当て
- ・ ブラウジング

ネットワークドライブの割り当て

：

ブラウジング

：

### 2.2.1 ファイル共有

ASP の拡張多階層ライブラリを、Windows のローカルディスクと同様に操作することを可能にする機能である。

拡張多階層ライブラリに作成したディレクトリに、PC ファイルサーバで公開するための「共有名」をつけることにより、配下のファイルやディレクトリを複数の Windows から操作できるようになる。

Windows からの接続方法としては、以下の 3 つがある。

- ・ ネットワークドライブの割り当て

- ・ブラウジング
- ・NET USE コマンド

ネットワークドライブの割り当て

：

ブラウジング

：

NET USE コマンド

Windows のコマンドプロンプト画面から、NET USE コマンドを使用してネットワークドライブの割り当てが行える。その際、以下のように指定する必要がある。

Windows がドメインに参加していない場合：

```
NET USE ドライブラベル (x: や z: など)
        ¥¥PC ファイルサーバのコンピュータ名 (または IP アドレス) ¥共有名
        パスワード
        /USER:Windows のコンピュータ名¥ユーザ名
```

Windows がドメインに参加している場合：

```
NET USE ドライブラベル (x: や z: など)
        ¥¥PC ファイルサーバのコンピュータ名 (または IP アドレス) ¥共有名
        パスワード
        /USER:ドメイン名¥ユーザ名
```

Windows のコンピュータ名やドメイン名が指定されない場合、NET USE コマンドが以下のエラーとなる場合がある。

「システムエラー 53 が発生しました。 ネットワークパスが見つかりません。」  
または、  
「システムエラー 1920 が発生しました。 ファイルにアクセスできません。」